



ほ 多 当

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆

～あなたの悩み事は当社までご相談下さい～

【今月の一冊】 迷路の外には何がある？

ジョンソン、スペンサー 著 扶桑社

ホームページ URL <http://primecorporation.jp/>

発行日 2020年9月1日 Vol. 215

発行元 有限会社プライム・コーポレーション

ライフコンサルタント 渡邊 敏 徳

〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲 147 番地

TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

次世代のリーダー

安倍首相の突然の退陣表明から、次の日本のリーダーを誰に託すのか9月14日に行われる自民党総裁選に注目が集まっています。

アベノミクスを掲げて取り組んできた安倍政権の総括がいろんなところで語られています。そんな中、日経ビジネスの「再興ニッポン 今、私たちにできること」という特集の中で、株式会社ファーストリテイリング(ユニクロ)の柳井正社長の記事が目にとまりました。その内容をいくつかお伝えします。

「コロナの影響ばかりをみんな語っているんだけど、その1年ぐらい前から景気は悪かったと思います。政府の発表だけ景気がよかった。コロナによって景気悪化が本物になったということではないでしょうか。そしてコロナで10年、歴史が早く回転し始めた。限界点が、思っていたより早く来た。変わるんだったら今でしょう。そもそもこの30年間、残念ながら日本経済は成長していませんよね」。

「ほとんどの企業が迎えているピンチをチャンスと捉えられるかどうかということだと思います。世界はコロナで変わったんじゃない。うわべだけのものが全部ばれ、本質的なものが要求されるようになったということです。企業も政治家も官僚もそうでしょう。企業は業績悪化をコロナのせいにしてはいるけれど、ちゃんとした経営をしていない企業は以前からしていないんですよ。それではだめ。変わる時代に合わせて行動、実行しないとイケない」。

「新型コロナは1国では対処しようもないことだけど、政治家や官僚は1国で完結しようとしているように見えます。製造業の国産回帰や産業保護をしようとする。でも保護するような金はない日本にないですよ。しっかりした人が正論を言わないといけません。そうじゃないと日本は本当に潰れますよね」。

「ファーストリテイリングも服屋なのか情報業なのか、サービス業なのか、あるいは製造業なのか、企画する会社なのか、業界の境界もないとしたら、最高のものをもってこられる可能性がある。でも、本当にとってこようと思ったら、優れた人の集団じゃないといけません。今後はやっぱり人材の質が問われる時代だと思いますね」。

次世代のリーダーは、お金のためではなくビジョンを掲げ、使命感で成果を出す人材が求められているのだと思います。



やられたらやり返す！

TBS系で放送された池井戸潤の小説「半沢直樹シリーズ」を原作としたテレビドラマが7年ぶりに放送されています。前作の最終回の平均視聴率は平成民放ドラマ1位となる42.2%をマークし社会現象になりました。決め台詞の「やられたらやり返す、倍返しだ」は新語・流行語大賞の年間大賞にも選ばれました。今回も高視聴率をたたき出しています。

人類史上最古の記録された法典と言われている『ハンムラビ法典』の中に「目には目を、歯には歯を」という一説がある。「やられたら、やり返せ！」と復讐を奨励した一文と思われがちですが、実は、まったく別のもっと大きな意図を表現していたようです。

ハンムラビ王が父王から受け継いだ地域はかなりの弱小国でした。しかしハンムラビの治世になってから、大国アッシリアと同盟を結ぶなどして一代で勢力をのびし、ついに歴史に名高い「バビロニア帝国」の初代王として即位することとなりました。

「目には目を、歯には歯を」という一説の真意ですが、「こちらがやられたこと以上の過剰な復讐をしてはならない」と、過剰な報復合戦を防ぐ目的で条文化されたと言われています。「やり返せ！」と煽るのではなく、むしろ「やられて悔しい人は、同じ程度の復讐をする程度でとどめる」という、抑止の意図の工夫があります。法典の後書きには「強者が弱者を虐げない」という内容の文言が記載されています。先人の知恵を参考にしたいものですね。



【座右の銘にしたい名言】



自分にはできる、あるいはできるようになりたいと思ったら、とにかくはじめること。大胆さが才能を生み、力を生み、魔法を生む。

(ゲーテ/ドイツの詩人、劇作家、小説家、自然科学者、政治家、法律家)